

# 緩和ケアがあたりまえの世の中になるように

～緩和ケアとは、病気に伴う心と体の痛みを和らげること～

## 旭川市

# 旭川医科大学病院

旭川医科大学病院緩和ケアチームは、年間のべ500件以上の新規依頼のある全国的にみても活動性のとても高いチームです。

### ■幅広い対応力

チームのスタッフには、それぞれ専門範囲があり、幅広くかつ専門的な対応が可能です。

整形外科と精神科の経験を持つ医師、消化器内科の経験を持つ医師、ペインクリニックや救急医療の経験を持つ医師などがいます。

チームの看護師、歯科医師が連携して、抗がん治療中の口腔の問題にもすぐに対応できるようにしています。理学療法士、作業療法士などリハビリスタッフとも日ごろから話し合いを持ち、治療中の体調変化に合わせてリハビリを心がけています

### ■診断時からの緩和ケア

がんと診断された時からの緩和ケアの提供に取り組んでいます。

がんの診断後、気持ちがつらくなるのは当たり前のことです。

その気持ちに寄り添いながら、心の整理をサポートします。

治療が始まってからは、抗がん剤や放射線治療中の痛み、

吐き気、便秘、不眠などに対応するとともに、

治療中の栄養状態にも気を配っています。

体力の維持や、痛みなどの緩和、機能回復のため、

治療中からリハビリにも気を配ります。

### ■遺族外来

患者さんが亡くなると、ご本人に対する治療やケアは終了しますが、家族にとっては悲しみの始まりでもあります。

患者さんを亡くされた家族、つまり遺族の悲しみは深く、ストレスを抱えて身体的・精神的に

大きな影響を及ぼすことがわかってきています。

しかしながら、わが国において遺族へのケアは

十分とは言えません。

遺族が遺族として大切にされる社会になることを願って、細々とですが、2011年から遺族外来の取り組みを続けています。

### ■絵本によるケア

絵本は、ものごとをイメージとして伝え、

感情に訴えかけられる点で優れています。

当院の緩和ケア医は絵本作家でもあり、これまでに、

医療やケアに関する絵本を作成しています。

その一部は、患者さんの利用できる病院ライブラリーで読むことができます。

また、小さなお子さんを持つがん患者さんのために、

「ママがしんじょうって」という冊子を作成し、

患者さんが必要時に活用できるようにしています。

お問合せ

☎ 0166-65-2111 (代表)

HP

🔍 [http://www.asahikawa-med.ac.jp/index\\_h.php](http://www.asahikawa-med.ac.jp/index_h.php)

アクセス

🚆 JR【函館本線】旭川駅 ※バス25分  
※タクシー15分

